

序

東京都健康安全研究センターは、都民の生命と健康を守るための科学的・技術的拠点として、感染症のまん延防止や食品、飲用水、医薬品及び生活環境等の安全確保のための試験検査に加え、食品や環境、医薬品の監視指導等を行っています。

これらの機能をより一層強化していくためには、平常時から試験検査の精度管理に努めるだけでなく、その効率性や迅速性を高めるとともに、新しい検査法を開発するための研究を行うことが重要です。さらに、都民の健康に対する未知の脅威を早期に発見し、必要な措置を講じ予防する取り組みも併せて行っています。

第73号研究年報は、令和3年度に実施した当センターの研究成果をまとめたものです。

本年報には、総説「東京都健康安全研究センターにおける新型コロナウイルス変異株の検査対応」と「栄養成分表示制度の変遷と東京都における栄養成分検査」をはじめ、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する原著・資料を含む、6分野全35題の論文を掲載しました。

こうした研究の成果は、当センターの財産であると同時に、他の施設にとっても有用な情報であると自負しております。本報告に収載された研究成果はどなたでも参照できるように、本冊子のほか当センターのホームページ上でも公表しています。また、本年度もCOVID-19等の重要かつ緊急性のある報告に限り、年報発行前にホームページに掲載させていただきました。当センターは日本における新型コロナ検査の最前線も担っております。関係者の皆様には、是非、われわれの成果をご活用いただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。今後もこうした研究を積み重ねることで、東京都の危機管理対応力の向上に取り組んでまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

令和5年3月

東京都健康安全研究センター所長
吉村 和久